

I 道路改良事業：一般国道 375 号 引宇根工区

(1) 事業概要

- ① 事業箇所 三次市日下町引宇根～三次市作木町香淀
- ② 規模等 道路延長：4,120m 車道幅員：6.0m(全幅員：9.75m)
- ③ 全体事業費 6,700 百万円
- ④ 工期 平成 27 年度～令和 7 年度

(2) 再評価の事由

事業採択後 5 年間を経過した時点で継続中の事業であるため。

(3) 審議内容

① 事業の内容と必要性

一般国道 375 号は、呉市を起点として東広島市、三次市を経て島根県大田市に至る延長約 200km の幹線道路である。当工区の現況は、江の川と急峻な山地に挟まれた地形状況から、線形も屈曲し見通しも悪く、幅員も 3m 程度と狭隘で、円滑で安全な交通が困難な状況となっており、早急な整備が必要である。

また、地域交通を担っていた JR 三江線は、平成 30 年 3 月に全線廃止となり、平成 30 年度から本路線を通る代替交通のバスが運行されているなど JR 撤退後の公共交通路線として、早急な整備が必要である。

② 事業を巡る社会情勢及び必要性等の変化

国勢調査の人口を比較すると、三次市の人口は、平成 22 年 56,605 人に対し、平成 27 年 53,615 人と減少傾向にあるが、平成 27 年度の道路交通センサス 1,244 台/日に対して、令和 12 年度の計画交通量が 2,700 台/日と交通量の増加が想定される状況となっている。

また、本事業区間は、広島県第一次緊急輸送道路（広島県緊急輸送道路ネットワーク）に位置づけられており、大規模災害時に救命活動・物資輸送などを迅速かつ確実に実施するための安全・安心の確保という、数値に現れない効果が期待され、本事業の必要性についての変化はないと判断する。

③ 進捗状況と今後の見通し

事業は計画通り進捗しており、令和 7 年度の事業を完了に向け、順調に工事が進んでいる。

④ 事業費の増減と現時点での費用便益比

費用便益比 B/C については、「費用便益分析マニュアル(H30.2 国土交通省道路局 都市・地域整備局)」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を供用開始後の 50 年間、社会的割引率を 4.0%とした結果、今回 B/C（総便益 (B) : 79.8 億円、総費用 (C) : 62.1 億円）は、1.3 となっている。

⑤ 地元からの要望

地元の三次市からは、引宇根工区について、平成 30 年 7 月豪雨や令和 2 年 7 月豪雨では一時通行止めなど、沿線住民の生活に大きな支障を来していることや、JR 三江線運行終了に伴う代替バスの運行ルートとして安全で円滑な運行を確保する必要があることから、未改良区間の早期整備を要望されている。

(4) 結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、予定としている令和 7 年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いします。